

（表1）ちえネット参加施設一覧（6月21日現在）

※医…病院・診療所、歯…歯科医院、介…介護事業所、薬…調剤薬局

業種	所在地	医療機関名
医	千歳市	市立千歳市民病院
医	千歳市	医療法人社団いずみ会北星病院
医	千歳市	医療法人同仁会千歳第一病院
医	千歳市	医療法人社団豊友会千歳豊友会病院
医	千歳市	医療法人資生会千歳病院
医	千歳市	医療法人同仁会向陽台病院
医	千歳市	マミーズクリニックちとせ
医	千歳市	医療法人社団千誠会千歳佐藤整形外科医院
医	千歳市	医療法人社団尾谷病院
医	千歳市	千歳駅北クリニック
医	千歳市	古泉循環器内科クリニック
医	千歳市	医療法人社団加藤内科クリニック
医	千歳市	ペウレ耳鼻咽喉科
医	千歳市	千歳インター消化器・内科
医	千歳市	千歳しなの内科
医	千歳市	医療法人社団高橋整形外科クリニック
医	千歳市	医療法人社団さくら女性クリニック
医	千歳市	長都内科クリニック
医	千歳市	はせがわ内科クリニック
医	千歳市	医療法人社団恵聖会クリニック
医	千歳市	医療法人北海道家庭医療学センター 向陽台ファミリークリニック
歯	千歳市	医療法人社団尾島歯科医院
歯	千歳市	川端デンタルオフィス
介	千歳市	千歳訪問看護ステーション
介	千歳市	訪問看護ステーションわかち愛
介	千歳市	北星館・かわせみ指定居宅介護支援事業所
介	千歳市	訪問看護ステーションつばさ
介	千歳市	訪問看護ステーション明日葉
介	千歳市	訪問看護ステーションゆうび
薬	千歳市	株式会社くすりのもりた栄町店
薬	千歳市	株式会社くすりのもりた花園店
薬	千歳市	あしたば薬局千歳店
薬	千歳市	スギハラ薬局向陽台調剤
薬	千歳市	調剤薬局ツルハドラッグ千歳新富店
薬	千歳市	株式会社くすりのもりた
薬	千歳市	三丁目調剤薬局
薬	千歳市	スギハラ薬局千代田店
薬	千歳市	スギハラ薬局しのめ調剤
薬	千歳市	西岡メディカル薬局千歳店
薬	千歳市	ちとせ市民調剤スギハラ薬局
薬	千歳市	株式会社くすりのもりた北光店
薬	千歳市	株式会社くすりのもりた北斗店
薬	千歳市	梅ヶ丘調剤薬局
薬	千歳市	なの花薬局千歳住吉店
薬	千歳市	なの花薬局千歳北陽店
薬	千歳市	しなの薬局
薬	千歳市	なの花薬局千歳店
薬	千歳市	株式会社はまなす薬局センター薬局向陽台店
医	恵庭市	かたおか循環器内科クリニック
医	恵庭市	医療法人社団産婦人科・小児科クリニックリブ
医	恵庭市	医療法人北晨会恵み野病院
医	恵庭市	えにわ内科・消化器内科クリニック
医	恵庭市	医療法人恵和会恵庭第一病院
医	恵庭市	医療法人社団恵庭南病院
医	恵庭市	医療法人社団ひこばえの会恵庭みどりのクリニック
介	恵庭市	恵み野ケアサポート
薬	恵庭市	スギハラ薬局黄金店
薬	恵庭市	スギハラ薬局島松店
薬	恵庭市	えにわ市民調剤スギハラ薬局
医	北広島市	医療法人社団向日葵活き粋在宅クリニック
医	安平町	医療法人同和会追分菊池病院

今、求められる
医療介護連携とは

医療や介護の需要がさらに高まる超高齢社会の現在では、質の高い医療を効率よく提供するため、これまでの「病院完結型医療」から「地域完結型医療」への転換が求められています。

地域完結型医療は、地域の医療機関などがそれぞれの特長を生かしながら役割を分担して、病気の診断や治療、検査、健康相談などの医療サービスを切れ目なく提供することを目的としています。

また、医療だけではなく、介護サービスを含めた地域全体の見守りを通し、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築が全国的に推進されています。

これらを実現するためには、地域の医療機関や介護事業所、調剤薬局など、さまざまな施設が情報を共有し、連携を密にした見守り体制の構築が不可欠です。



地域全体で患者さんを見守るネットワーク

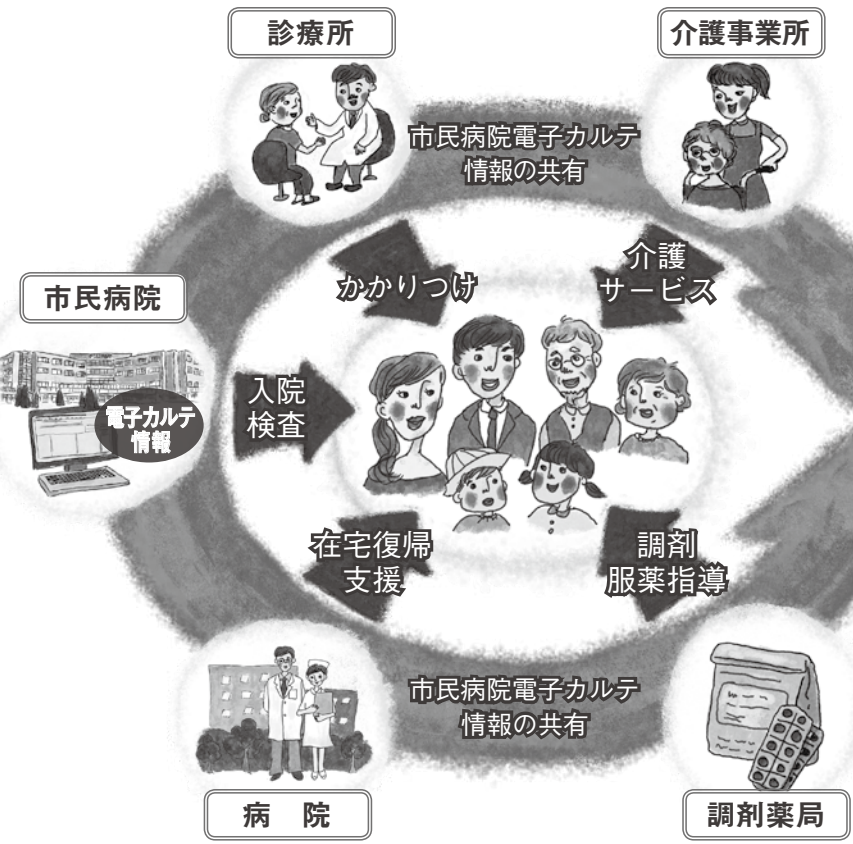
「ちえネット」には、千歳市を中心に、恵庭市と近郊地域の病院・診療所、歯科医院や調剤薬局、介護事業所など、現在、合計61の施設が参加しています（表1）。

市民病院の電子カルテ情報を共有し、複数の施設が同一の情報をともに、診療などを行うことが可能になります。参加施設が連携し、地域全体で質の高いサービスを切れ目なく提供することが、「ちえネット」の目標です。

ちえネット CHIE-NET の名前の由来

ネットワークに参加する各施設が全員で「知恵」を出し合って、優れたネットワークの構築を目指すことと、参加する施設が千歳市を中心に、恵庭市とその近郊地域から構成されていることから、千歳と恵庭の頭文字をとって「ちえネット」と名付けました。

ちえネットによる医療介護連携のイメージ



7月1日から、医療介護連携ネットワーク「ちえネット」がスタートしました。千歳市と近郊地域の医療機関や調剤薬局、介護事業所などがインターネットを介したネットワークシステムで繋がり、市民病院の電子カルテ情報を共有することができる「ちえネット」。登録証カードを提示し、初回のみ同意書を提出することで、かかりつけの医療機関などが、市民病院で受けた治療や検査の詳しいデータを閲覧できるようになりました。

「ちえネット」の始動で診療情報の共有が行われると、私たちの医療や介護はどのように変化するのでしょうか。今月の特集では、新しい医療連携についてご紹介します。

特集

ちえネット CHIE-NET

でどう変わる？ 私たちの医療と介護

ちえネットが変わる医療連携の「安全」と「安心」

ちえネット参加施設では、こんな対応が可能になります

《具体例Ⅰ》 かかりつけ医の受診

持病をかかりつけ医Ⅰで診てもらっているAさん。気になる症状があつて、市民病院に入院することになり、いくつかの検査も受けました。入院中に症状が良くなったので、今後は、かかりつけ医Ⅰで治療を継続することに。

退院後にかかりつけ医Ⅰを受診したとき、Aさんは、入院中の治療内容や検査結果について、詳しく説明をする必要がありませんでした。かかりつけ医Ⅰは、「ちえネット」に参加しており、必要なデータをネットワークで確認していただくためです。

また、市民病院で処方された薬の情報も正しく把握していたことで、Aさんが診察時に薬の名前を思い出さなくても、重複投与の心配もありませんでした。

かかりつけ医Ⅰでの今後の診療計画は、市民病院で受けた治療の方針に沿っており、Aさんは安心して治療を続けることができました。

《具体例Ⅱ》 調剤薬局の利用

市民病院を定期的に受診して、持病の薬を処方されているBさん。風邪をひいて近所の診療所を受診し、風邪薬が処方されました。Bさんは、お薬手帳を持参していなかったため、持病の薬との飲み合わせが心配でした。

処方箋を持参した調剤薬局Ⅱは、「ちえネット」に参加しており、Bさんの市民病院での診療情報を確認することができます。担当の薬剤師が飲み合わせに問題がないことなど、丁寧な服薬説明を行ってくださったため、Bさんは安心して薬を飲むことができました。

《具体例Ⅲ》 介護事業所の利用

Cさんは、市民病院を退院後、自宅療養のため、訪問看護サービスⅢを利用することになりました。

Cさんが利用する訪問看護サービスⅢは、「ちえネット」に参加しているため、Cさんの病歴などを正確に把握することができます。日常生活で配慮すべきことや、食事の栄養管理など、病状に即した適切なケアを受け、Cさんは安心して療養を続けることができました。

ちえネット 特集 どう変わる？ 私たちの医療と介護



「ちえネット」利用時は、登録証カードの提示のほか、利用施設ごとに同意書の提出が必要（初回のみ）。



ちえネットが目指すもの

超高齢社会の現代において、医療と介護に対するニーズはさらなる高まりを見せ、1つの病院だけで十分な医療を提供することには限界が生じています。また、介護サービスとの連携が必要不可欠な時代になったといえるでしょう。

「千歳市地域連携ネットワーク運営協議会」は、医療機関や調剤薬局、介護事業所などが連携を密にし、情報の共有を行うネットワークシステムを構築するため、平成28年12月に設立されました。今回導入した「ちえネット」は、地域全体

で患者さんをケアする体制の基盤となる重要なネットワークシステムといえます。

現在、共有の対象は、市民病院の電子カルテ情報のみですが、今後は参加施設が保有する情報も皆で共有できる運用とし、さらに質の高い医療や介護サービスの提供を目指します。

また、将来的には、市の特定健診とも連携をとり、過去の診療内容から、保健師が生活習慣のアドバイスができるようにするなど、予防医学の分野でも「ちえネット」を役立てたいと考えています。

ちえネットを利用するには

市民病院の電子カルテ情報が共有の対象となるため、市民病院に受診歴がある方、これから受診や検査を予定されている方が「ちえネット」を利用できます。

市民病院の電子カルテ情報をほかの施設が共有するためには、受診時に登録証カードを提示し、患者さん本人（病状などにより本人の同意が難しいときは家族）の同意書の提出が必要です。「ちえネット」に登録していない方は、同意書の提出と同時に登録の手続きを行います。

なお、同意書は、利用する施設ごとに必要です。会員施設であっても、同意のない施設が登録者の情報を閲覧することはできません。

市民病院では、9月29日（金）まで、「ちえネット」の登録受付窓口を開設しています。市民病院に受診歴があれば、現在ほかの参加施設を利用する予定がなくても、「ちえネット」に登録し、登録証カードを作成できます。また窓口では、「ちえネット」の登録に関する相談にも応じています。

ちえネット会員施設を募集しています

「ちえネット」は、新たに仲間になっていただく会員施設を募集しています（申込は随時受付）。「ちえネット」に参加すると、次のようなメリットがあります。

【病院・診療所】

- ・患者さんの情報を把握し、状況確認や受入準備ができます
- ・MRI、CTなどの委託検査結果をネットワークで瞬時に受け取ることができます

【調剤薬局】

- ・患者さんの病歴や検査結果などの情報に基づいて服薬指導を行うことができます
- ・処方された薬剤について医師へ問い合わせる前に、電子カルテ情報を参考にすることができます

【介護事業所】

- ・患者さんの医学的な状態を知ったうえで、介護サービスを提供することができます
- ・病歴などから、食事や生活などで配慮すべき点を検討することができます

将来の目標は 双方向の情報共有

「ちえネット」は、今後、システムの整備をさらに進め、市民病院の情報を共有するだけでなく、複数の施設、最終的には全ての参加施設の情報と共有する、いわゆる双方向の情報共有ネットワークの構築を目標としています。複数の施設を利用するときの障壁を取り除き、質の高いサービス提供のため、地域全体で患者さんを見守る体制の強化を進めます。

ちえネットに関する お問い合わせ・参加申込

市立千歳市民病院
地域医療連携室地域医療連携課
☎(24)3000（内線138）
FAX(24)3030

個人情報を守られるの？

「ちえネット」のネットワークは強固なセキュリティを施した回線（VPN回線）を使用し、外部から侵入される危険はありません。

また、各施設からのアクセスにはID・パスワードの入力が必要になるとともに、許可された端末以外で情報の閲覧はできないので、会員施設以外から診療情報を見ることはできません。

さらに、会員施設において不正なアクセスがあったときは、原因を追及できる仕組みとなっています。

参加施設のセキュリティポリシー

- ①各会員はちえネットを利用するに当たり、千歳市地域連携ネットワークシステム運用規程のほか、著作権法（昭和45年法律第48号）、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）その他の関係法令等を遵守します。
- ②各会員は、情報セキュリティの適正な管理に努め、ユーザーID及びパスワードを利用者本人以外の者に使用させません。
- ③各会員は、ちえネットに接続する端末にウィルス対策ソフトを導入し、常に最新のウィルス定義を更新します。
- ④各会員は、ちえネットを通じて知り得た情報を、千歳市地域連携ネットワーク運営協議会規程に定める目的以外に利用いたしません。